

登録コード	E7114300	開講年度	2026			
授業科目	教育社会学演習				担当教員	越智 康詞
英文授業名	Seminar in Sociology of Education				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・5時限	対象学生
講義室	教育M412		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				個々の人間が他者や社会や他の生命・環境と深く結びついて存在していることについての理解を深め、自らを支える社会や地球環境に責任をもって行動できる（子どもたちに伝えられる）ようになる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				人間の基本特性（学び、協力、道具の活用）を理解し、子どもの性質や学びの構造への理解を深めるとともに、総合的な視点からカリキュラム（特に、総合的な学習や特別活動）を構想できるようにする。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	教育社会学ならびに受講生の研究領域にかかわる基礎的・理論的・方法的文献、重要な先行研究を批判的に解読し、共に議論する。受講生自身の研究活動について報告し、関連する文献を共に読みこなし、研究の発展に向けて支援する。基本となるのは、テキストを中心とした討論である。担当の学生がテキストを簡単にまとめ、自分の考えやコメントを付したレジュメを準備し、それをもとにして議論を行う。受講生は必ず一度は発表を行うことが義務である。また、毎時間、新聞記事、雑誌記事、インターネット、最近読んだ本などから、そのときどきの話題を紹介し、簡単な話し合いを行う。これによって、現実のアクチュアルな問題と「つながり」を強くする。また、司会も学生が交代で行い、議論の取りまとめのレッスンをを行う。					
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：受講生の研究テーマの報告 第3回：理論的文献の読解 第4回：方法論的文献の読解 第5回：受講生の研究テーマに関連した文献の読解 第6回：受講生による研究状況の報告 第7回：前半の批判的振り返り 第8回：高度な理論的文献の読解 第9回：高度な方法論的文献の読解 第10回：先行研究の分析 第11回：関連資料の収集と分析 第12回：受講生の研究の深化に関する報告 第13回：研究内容の批判的吟味 第14回：論文の構成の検討・授業アンケートの実施 ＊教育実習と重なった場合は補講を行う（場合によっては代替課題の提出を求めることもある）					
(6)成績評価の方法	・平常点 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	毎回のゼミに於いて文献を読みこなし、討論に参加することが前提。また、報告者となったときには、疑問を予め調べて解決し、メンバーに理解できるよう説明する。また質問に答える。その上で、問題を提起し、議論をリードする。きちんと予習し、報告の準備を整え、議論に参加できれば「水準」にある。問題や疑問点をしらべ、質問に滞りなく答えられれば「やや上」にある。自ら問題を提起し、議論をリードできれば「かなり上」にある。報告者であるなしにかかわらず、毎回討論をリードし、有効な議論を引き出すことに貢献できれば「卓越」している。					
(8)事前事後学習の内容	毎回の「授業」において、次回の購読範囲を指定するので、いかに困難でも最後まで読み通し、理解を超える部分については質問・討論のテーマとしてもってくる。報告者の担当にあたっている者は、レジュメかバワボを作成し、難しい言葉や重要な人物については、適切な資料をもちいて調べ、全員に説明できるように準備する。 なお、この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。					
(9)履修上の注意	出席することは絶対義務だが、単に出席していればいいのではなく、積極的に議論等に参加することが望まれる。レジュメの発表者は、1週間以上前にテキストをコピーして、準備すること。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	オフィスアワーの実施場所:N313, 曜日, 時間（在室の時はいつでも）, 授業担当者の連絡先（研究室電話番号026-238-4218, メールアドレス：yasushi@shinshu-u.ac.jp）					
【教科書】	特に指定しない。					
【参考文献】	新しい時代の教育社会学 加野・越智編 ミネルヴァ書房 2012 （2400円）等					

【参考文献】	残りは、その都度紹介する。
--------	---------------